

第4学年3組 社会科学学習指導案

4年3組教室 指導者 朝倉 大

1 単元名 岩瀬弥助の思いに迫ろう (郷土に伝わる願い)

2 単元の目標

- (1) 岩瀬弥助の功績や岩瀬文庫に関心をもち、岩瀬弥助の思いに迫るために、意欲的に調べようとする。 【関心・意欲・態度】
- (2) 岩瀬弥助の文庫創設にかけた思いについて、岩瀬文庫の成り立ちや平面図、岩瀬弥助の人物像の調べをもとに考える。 【思考・判断・表現】
- (3) 岩瀬弥助の功績や文庫創設にかけた思いについて、フィールドワークやインタビュー、様々な資料の読み取りを通して必要な情報を集める。 【資料活用】
- (4) 岩瀬弥助の功績や文庫創設にかけた思い、岩瀬文庫の価値について理解する。 【知識・理解】

3 単元の構想

本学級の児童は、体験やフィールドワークに積極的に取り組むことができる。既習の「ごみのゆくえ」では、地域にあるごみステーションの見学に行き、様子を見て気づいたことや、考えたことをノートにまとめることができた。また、発見したことをもとにして、さまざまな視点から事実を見つめ、自分の考えをもつことができるようになってきた。既習の「事故や事件からくらしを守る」では、自分たちの安全を守ってくれている人や物を発見し、そのおかげで事故の危険が減っていることに気づくことができた。そして、「減る」ということに注目し、交通事故をゼロにするためには、守られているだけではなく、自分自身も意識して気をつけなければならないと考えることができた。このような様々な視点から事実を見つめ、考える力をさらに伸ばし、発信してほしいと願う。

そこで、本単元では、「岩瀬文庫」を取り上げる。岩瀬文庫は、地域のためにとという思いのもと、岩瀬弥助が私財を投じて明治41年に設立した私立文庫である。当時の日本に、図書館がほとんど存在しない中、蔵書数は8万冊を超え、宿泊施設や婦人閲覧室、子ども専用閲覧室など、様々な施設を兼ね備えていた。児童がよく利用する現在の市立図書館の前身にあたるものであり、建物は姿を変えたが、当時の西尾町民らの働きかけによって、蔵書はそのままに、西尾市が誇るべき文化財として、今なお同敷地内に存在している。子どもたちにとって身近な存在である市立図書館の前身が岩瀬文庫であることを知り、調べることを通して、みんなのためにと願って私財を投じて建てた岩瀬弥助の思いや、後生に残したいという先人の思い、さらには、そのおかげで、今を生きる自分たちが多くの恩恵を受けられていることなど、様々な視点から岩瀬文庫を捉え、その価値の高さや大切にしたいという考えをもつことができると考える。

まず、導入として、平成11年と大正9年の地図を比較し、鶴小校区の土地利用の変化について考える場を設定する。児童は、土地利用や主な施設を塗り分けて見比べることで、鶴城小学校がなかったり、家が少なかったりするなど、今と昔の様子が大きく違うことに気づくだろう。そんな中、市立図書館だけは変わらず同じ場所に存在することに注目させることで、大正時代の市立図書館が一体どのようなものなのか知りたいという学習意欲につながると思う。その上で、市立図書館へフィールドワークに出かけ、今に残る建物を探したり、市立図書館の司書にインタビューしたりして、大正時代の市立図書館の正体を探る場を設定する。司書への質問を通して、現在の市立図書館が昭和58年にでき、それ以前は岩瀬文庫だったという大正時代の市立図書館の正体を突き止めることで、今なお残る「岩瀬文庫」がどのような場所なのか関心をもち、詳しく知りたいという学習意欲につながると思う。さらに、その思いを受け、岩瀬文庫に行き、学芸員さんの話を聞く場を設定する。学芸員さんの話を通して、たった一人で岩瀬文庫を建てることのできた岩瀬弥助という人物や、本を借りたり、読んだりするはずの場所に宿泊施設や猿舎があったこと、地震があつて壊れてしまったにもかかわらず今なお残っていることなど、さまざまなわからなさが生まれ、さらなる追究意欲へとつながるだろう。そこで、深化として「岩瀬弥助のめざした文庫を明らかにしよう」という課題を提示し、岩瀬弥助が何のために、どのような文庫の設立を考えたのかを追究させていく。児童は、岩瀬弥助の年表やパンフレット、岩瀬文庫の平面図、年表などの資料を読み取ったり、調べる中で浮かんだ疑問を学芸員さんに聞いたりすることを通して、岩瀬弥助の行動や岩瀬文庫の施設などに、「人のためになる文庫をつくりたい」という思いが具現化していることに気づくだろう。そして、それぞれが見つけた岩瀬弥助の思いについて話し合う場を通して、「人のために」という思いを、女性、子ども、遠方の人など具体的な言葉として捉え、岩瀬弥助が岩瀬文庫に込めた思いに迫ってほしい。また、現在の岩瀬文庫についてどう思うか話し合うことを通して、弥助の思いどおり、重宝されたり、思い出の場所の一つであったりしたにもかかわらず、限られた人が利用する場になってしまっている現状にまで考えを広げ、価値ある岩瀬文庫を、よりよいままで大切に残していきたいという思いに達してほしい。その上で、活用として、現状から岩瀬弥助の思いに沿ったみんなが親しみやすい、よりよい岩瀬文庫にするために、自分たちでできることを考える。様々なアイデアを考え、精選し、自分たちにできる方法で岩瀬文庫のために行動する姿を願う。

鶴小校区は、昔、どんな様子だったのかなあ。

鶴小校区の歴史を探ってみよう③

○大正時代の地図で、「あるもの」「ないもの」探しをしよう①

- ・鶴小がないよ。鶴中も。田んぼだらけだ。
- ・図書館って、100年も前からあったんだ。すごい。

○昔の市立図書館の正体を探りに見学へ行こう①

- ・僕たちが利用している図書館は、昭和58年にできたものなんだ。
- ・大正9年にのっていた地図は、岩瀬文庫だったんだね。
- ・岩瀬文庫ってどんなところなんだろう。行って調べてみたいな。

○岩瀬文庫に行って、学芸員さんにお話を聞こう①

- ・愛知県内に図書館がほとんどない明治41年にできてるんだね。
- ・岩瀬弥助さんが一人の力でつくったんだ。一体、どんな人なんだろう。
- ・昔は猿がいたんだって。どうしてそんなものをつくったんだろう。
- ・大地震でこわれたみたいだけど、どうして今も続いているのかなあ。

岩瀬弥助のつくった岩瀬文庫とは、どんな文庫だったんだろう。

岩瀬文庫のひみつを解き明かそう⑩

○岩瀬文庫の平面図を読み取ろう②

- ・昔は、宿泊施設や猿舎、児童館など、本を読むことと関係ない場所があったみたいだ。図書館なのに、どうしてそんな場所をつくったんだろう。

○岩瀬弥助は、どのような人だったのか調べよう②

- ・140年前に、須田町で生まれたんだ。
- ・西三河を代表するほどの大金持ちだったんだ。
- ・大金持ちだけど、ぜいたくはせず、困っている人や学校に寄付したり、鉄道を引いたりするなど、地域のためにお金を使った優しい人なんだね。
- ・集めた8万冊の本も、建物の費用も、全て岩瀬弥助さんが出したんだね。

○岩瀬文庫の移り変わりを調べてみよう②

- ・岩瀬弥助さんの死後、存続の危機があったんだね。
- ・西尾の人々が保存運動をするなどして、危機を乗り越え、守ったんだね。
- ・そのおかげで、今あの場所に図書館が建っているんだね。
- ・岩瀬文庫は、それだけ多くの人に愛されていたんだね。
- ・できた当時も今も、数多くの学者や研究者が来て、利用しているんだね。

○岩瀬文庫を調べる中で、浮かんだ疑問を学芸員さんに聞いてみよう①

- ・婦人閲覧室は、女性専用の読む場所なんだ。当時は、男女平等じゃなくて、女の人は落ち着いて本を読めなかったからなんだね。
- ・猿舎は、えさをあげたり、見たりして、子どもたちが楽しめるようになっていったんだね。

○岩瀬文庫には岩瀬弥助のどのような思いが込められているか考えよう③
(本時13/17)

- ・婦人閲覧室や宿泊施設、猿舎などをつくっているから、女性や子ども、研究者など、様々な人が楽しめるよという思いが込められていると思うよ。
- ・でも、ぼくたちは猿小屋も駄菓子屋もなくなってしまったから、子どもは楽しめないかもしれない。弥助さんの思いを受け継いでいないかも。
- ・ぼくのお父さんは、昔は猿小屋でたくさん遊んだ大切な思い出の場所って言うっていたよ。だから、みんなに親しまれるすてきな文庫に復活させたい。

岩瀬弥助の人々に対する思いがいっぱいつまった文庫なんだね。

岩瀬弥助の思いに沿った岩瀬文庫を残すためにできることを考えよう④

○みんなが親しみやすい岩瀬文庫に復活するには何が考えよう①

- ・猿小屋や駄菓子屋を復活させたらいいよ。
- ・新聞で岩瀬文庫のよさをもっと知らせたらいいよ。

○アンケートで僕たちのアイディアについて意見をもらおう①

- ・猿小屋復活には、大きな問題がありそうだね。新聞で伝えよう。

○岩瀬弥助の思いや、岩瀬文庫のすばらしさを、新聞にまとめよう②

- ・みんなに伝わるようなわかりやすい新聞にしたい。

これからも残していけるよう、自分にできる方法で大切にしていきたい。

- ・自分たちが住んでいる校区の今と昔の違いをつかむとともに、図書館が古くから存在していることに注目することができるように、小学校や中学校などがなく、図書館だけが今と同じ場所にある大正時代の地図と今の地図を用意し、比較する場を設定する。
- ・「100年前のものは残っているのだろうか」と問いかけ、長い歴史をもつ図書館を調べたいという意欲の喚起を図る。
- ・明治から続く岩瀬文庫の存在を実感するために、市立図書館探検を行ったり、学芸員さんの話を聞いたりする場を設定する。
- ・現在の市立図書館ができるまでを話の中心とし、岩瀬文庫については概要までにとどめ、子どもの岩瀬文庫を調べたいという意欲を喚起することができるように、学芸員さんと打ち合わせをする。
- ・岩瀬文庫について分かったことや、疑問を共有することができるよう、岩瀬弥助について調べたことを出し合う場を設定する。
- ・岩瀬弥助がどのような思いで岩瀬文庫をつくったのか疑問を膨らますことができるように、当時の岩瀬文庫には、どのような施設があったのか、平面図を読み取る場を設定する。
- ・調べ学習を容易にするために、岩瀬文庫子どもパンフレットを活用する。調べ学習の様子を見て、必要な場合には、補足できるような自作プリントを準備・配付する。
- ・地域の人からも愛されていたことに気づくことができるように、岩瀬文庫の移り変わりを調べるための自作プリントを準備・配付する。
- ・各自の疑問の答えや、岩瀬弥助の思い、周りへの影響に気づくことができるように、岩瀬文庫の各施設の意図、完成後や現在の利用状況等を話してもらえるように、学芸員の方と打ち合わせをする。また、アンケートを行い、利用者の声を聞く。
- ・「人のために」という岩瀬弥助の思いや地域の人々の行動に隠れた思い、先人のはたらきによって私たちが恩恵を受けられているありがたさを捉えることができるように、岩瀬文庫の各施設や岩瀬弥助のさまざまな行動に注目させ、どのような思いが、だれのために込められているか考え、話し合う場を設定する。
- ・岩瀬文庫の各施設や行動に、岩瀬弥助の「人のために」という思いが具現化していることをつかむことができるように、明快な板書構成に努める。
- ・岩瀬弥助の「人のために」という思いが詰まった岩瀬文庫が、時代とともに変わりつつある現状に気づくとともに、よりよい形で残していきたいという思いを喚起するために、今の岩瀬文庫を自分たちはどう思うか問いかけたり、地域の人たちの思いにも目を向けさせたりし、今後どうしていきたいか、自分の考えをもつことができるようにする。
- ・岩瀬文庫を大切に残していくために、自分たちにできることを考え、様々な人に意見をもらい、精選していく場を設定する。
- ・岩瀬文庫についてPRできるように、作文応募したり、岩瀬文庫についてまとめた新聞を市立図書館に掲示してもらったりする。

導入

深化

活用

5 本時の学習

(1) 目標

- ・ 設立当時の岩瀬文庫にある施設などをもとに、岩瀬弥助がどのような思いが込められているか考える。

(2) 過程

流れ	子どもの活動	教師支援						
つかむ 5分	1 岩瀬文庫を建てた人や、昔あった施設について確認する。 ・ 岩瀬弥助さんが一人で建てたよ。 ・ 図書館に関係ない猿舎や宿泊施設などがあったよ。 2 本時の課題を確認する。	・ 本時の課題を考える上で、キーワードになりそうな施設を確認したあと、本時の課題を確認する。						
ふかめる 30分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> 岩瀬弥助は、どのような文庫をつくらうとしたのか考えよう </div> 3 岩瀬文庫の各施設を建てた目的を話し合う。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;"><岩瀬文庫の建物から></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px; vertical-align: top;"> <p>婦人間覧室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女の人 → 男女不平等 女：勉強× <p style="text-align: center; color: blue; font-weight: bold;">↓</p> <p>ゆっくり読んで楽しんで！ ストレスなしで！</p> </td> <td style="width: 33%; padding: 5px; vertical-align: top;"> <p>宿泊施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遠い人 → 行き帰り大変 読む時間：少 <p style="text-align: center; color: blue; font-weight: bold;">↓</p> <p>ゆっくり見て！ じっくり読んで！ 出直さないで！</p> </td> <td style="width: 33%; padding: 5px; vertical-align: top;"> <p>児童館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども → 本のみ退屈 ・ 親 → 読書× <p style="text-align: center; color: blue; font-weight: bold;">↓</p> <p>楽しく遊んで！ ゆっくり読んで</p> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px; vertical-align: top;"> <p>猿舎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども → 本のみ退屈 ・ 親 → 読書× <p style="text-align: center; color: blue; font-weight: bold;">↓</p> <p>楽しんで！ ふれあって！</p> </td> <td style="padding: 5px; vertical-align: top;"> <p>会堂</p> <p>来た人 客 お金のない人 西尾の人々</p> <p style="text-align: center; color: blue; font-weight: bold;">↓</p> <p>海外のこと知って！ 旅行気分味わって！ おいしく食べて！</p> </td> <td style="padding: 5px; vertical-align: top;"> <p>花壇</p> <p>本だけ退屈 小さい子 空腹の子</p> <p style="text-align: center; color: blue; font-weight: bold;">↓</p> <p>リラックスして！ おいしく食べて！ 癒されて！</p> </td> </tr> </table> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> 岩瀬弥助は、どのような文庫をつくらうとしたのかな？ </div> 4 岩瀬弥助は、どのような文庫をつくらうとしたのか考える。 ・ 利用するすべての人が喜び、楽しむことができるような、みんなのためになる文庫をつくらうとしたと思いました。理由は、女性が安心できる場所や子どもが楽しめる場所など、いろいろな人が楽しめる施設を作っているからです。	<p>婦人間覧室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女の人 → 男女不平等 女：勉強× <p style="text-align: center; color: blue; font-weight: bold;">↓</p> <p>ゆっくり読んで楽しんで！ ストレスなしで！</p>	<p>宿泊施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遠い人 → 行き帰り大変 読む時間：少 <p style="text-align: center; color: blue; font-weight: bold;">↓</p> <p>ゆっくり見て！ じっくり読んで！ 出直さないで！</p>	<p>児童館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども → 本のみ退屈 ・ 親 → 読書× <p style="text-align: center; color: blue; font-weight: bold;">↓</p> <p>楽しく遊んで！ ゆっくり読んで</p>	<p>猿舎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども → 本のみ退屈 ・ 親 → 読書× <p style="text-align: center; color: blue; font-weight: bold;">↓</p> <p>楽しんで！ ふれあって！</p>	<p>会堂</p> <p>来た人 客 お金のない人 西尾の人々</p> <p style="text-align: center; color: blue; font-weight: bold;">↓</p> <p>海外のこと知って！ 旅行気分味わって！ おいしく食べて！</p>	<p>花壇</p> <p>本だけ退屈 小さい子 空腹の子</p> <p style="text-align: center; color: blue; font-weight: bold;">↓</p> <p>リラックスして！ おいしく食べて！ 癒されて！</p>	・ 利用するすべての人が楽しむことができる文庫になることを願った岩瀬弥助の思いに迫るために、「みんな」や「客」といった言葉を、より具体的な人として捉えることができるように全体に問い返しを行う。 ・ 各施設に込めた弥助の思いを出し合う場では、関係する考えがある時には、その場に立つように声をかける。 ・ 利用するすべての人が楽しむことができる文庫になることを願った岩瀬弥助の思いをつかむことができるように板書構成を工夫する。
<p>婦人間覧室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女の人 → 男女不平等 女：勉強× <p style="text-align: center; color: blue; font-weight: bold;">↓</p> <p>ゆっくり読んで楽しんで！ ストレスなしで！</p>	<p>宿泊施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遠い人 → 行き帰り大変 読む時間：少 <p style="text-align: center; color: blue; font-weight: bold;">↓</p> <p>ゆっくり見て！ じっくり読んで！ 出直さないで！</p>	<p>児童館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども → 本のみ退屈 ・ 親 → 読書× <p style="text-align: center; color: blue; font-weight: bold;">↓</p> <p>楽しく遊んで！ ゆっくり読んで</p>						
<p>猿舎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども → 本のみ退屈 ・ 親 → 読書× <p style="text-align: center; color: blue; font-weight: bold;">↓</p> <p>楽しんで！ ふれあって！</p>	<p>会堂</p> <p>来た人 客 お金のない人 西尾の人々</p> <p style="text-align: center; color: blue; font-weight: bold;">↓</p> <p>海外のこと知って！ 旅行気分味わって！ おいしく食べて！</p>	<p>花壇</p> <p>本だけ退屈 小さい子 空腹の子</p> <p style="text-align: center; color: blue; font-weight: bold;">↓</p> <p>リラックスして！ おいしく食べて！ 癒されて！</p>						
まとめる 10分	5 本時の感想を書く。 ・ 岩瀬弥助さんは、利用するすべての人のために思い、喜び、楽しめる文庫をつくらうとしていたんだね。だからこそ、西尾の人々に愛されて守られ続けて今も残っているんだね。すごく優しい人思いな人だなあ。ぼくも、岩瀬文庫を大切にしていきたいな。	・ 話し合いを通して考えた岩瀬文庫に込められた岩瀬弥助の思いとともに、岩瀬文庫の歴史や岩瀬弥助の人柄など、これまでの学習をもとに、岩瀬文庫に対するの自分の思いをまとめるように指示する。						